

龍雲寺 花園会報

二〇一四年 春彼岸号

監修／細川晋輔 編集／細川要子

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>

○龍雲寺 URL <http://home.catv.ne.jp/rr/ryuunji/>

〒一五四一〇〇〇三三

東京都世田谷区野沢三―三八―一

TEL〇三―三四二一―〇二三八

FAX〇三―三四一八―九八六三

ごあいさつ

閑栖住職 細川景一

今年の冬の寒さは格別でした。雪も例年になく多く、二週続いて大雪で、龍雲寺の境内でも久しぶりで氷も張り、霜柱も立ちました。雪もいつまでも残っています。

又彼岸会がやってきました。お彼岸会は、人それぞれが亡き人の思いを振り返るとともに、自分を高める為に努力する一週間です。

NHKの大河ドラマで、「軍師黒田官兵衛」が放送されています。彼は自ら「如水」と号し、水五則を掛けて座右の銘としていました。

私達もその生き方を学ぼうではありませんか。一、自ら活動して他を動かしむるは水なり

(他を指導し、物事をさせる為には先ず自ら実践すべきである。)

二、つねに己の進路を求めてやまざるは水なり

(自らの進路をいつも求め続ける積極性を持つべきである。)

三、障害にあつて激しくその勢力を百倍し得るは水なり

(少々の障害に当たろうとも、力を落としたり、

落胆することなく、

次の機会を待つて力を蓄えるべきである。)

四、自ら潔うして、他の汚濁を洗い、清濁あわせ容るる量あるは水なり

(人の善悪を好き嫌いなするな、人の善悪はつかい手にあると心得べきである。)

五、洋々として大海をみだし、発しては雲となり、雨雪に交じり、霧と化し、疑つては玲瓏たる鏡となり、しかもその性を失わざるは水なり

(何時でも何処でも自分の信念は変えるべきではない。水は高きから低きに無心で流れます。如何なる障害物があろうとも、自在に流れを変えて、信じられない様な力を発揮して岩をも削り取つて流れていきます。)

春季彼岸会法要

平成二十六年三月二十一日(金)

於・龍雲寺本堂

十二時

御詠歌奉詠

十二時四十五分～法話(本山布教師)

十三時半 法要

※おはぎと、お漬物をご用意しています。どうぞお参り下さい。申し込み不要。

行事予定

四月 十二日(土)～十四日(月)

妙心寺参拝と伊勢の旅

五月 十二日(月)～十五日(木)

第二次坂東三十三観音巡礼①

五月二十六日(月)～二十九日(木)

第八次四国巡礼②

六月二十四日(月)～二十五日(木)

第一三四回三峰榛名講

七月 十七日(木)

施餓鬼会

八月 一日(金)～三日(日)

盆踊り大会(環七駐車場)

八月 十五日(金)～十七日(日)

第九次妙心寺と五山送り火の旅

九月二十三日(火)

彼岸会

十月 四日(土)

第十一回天満敦子

十月 十五日(水)～十七日(金)

全国奉詠大会

十月二十七日(月)～三十日(木)

第二次坂東三十三観音巡礼②

十一月十七日(月)～二十一日(金)

台湾三十三観音巡礼

台湾三十三観音巡礼の旅

今回、龍雲寺で台湾三十三観音巡礼を主催するというので参加させて頂きました。龍雲寺の巡礼は、細川要子様を引率者として四国、西国、板東、秩父、奥州、北海道と国内の主要な観音巡礼をそれぞれ相当回数実施されてきました。初めての海外巡礼は総勢三十名もの参加となりました。

まず、台湾の各寺院で驚いたのはご本尊の観音様や仏様が何処も二層から五層程も有り金色や真っ白なお姿で非常に立派なことでした。また、三層造りの大きな本堂を擁するお寺もあり台湾の人たちの信心深さを感じました。今回は台北を中心に郊外を含め十寺の巡礼でしたが日本の巡礼のようなお灯明や納め札を上げることはなくお線香またはお焼香でした。どのお寺さんでもお経が終わると私達全員の席を設けて下さりお茶とお菓子のご接待やいくつのお寺では、いろいろなお土産も頂き欲待して下さいました。最後のお寺では日本から寄贈した観音像の台座に方丈様のお名前があり、一同大感激しました。台湾巡礼の楽しみに本場の飲茶、海鮮鍋、素食（ベジタリアン）などの食事と方丈様からと言うことで地元の紹興酒を沢山頂いたことです。本当にごちそうさまでした。また、夜は本場足裏マッサージに体を癒やし、巡礼でこんな贅沢をしていいのかなんて思いながら秋の第二回を楽しみにしております。（河合康夫）



龍雲寺 御一行様

故宮博物院

2014.2.18

河合康夫様は洗心坐禅会、四国巡拝、西国、板東等の観音巡礼に、いつもご夫妻でご参加されています。（要子）



龍雲寺 御一行様

報恩寺

2014.2.18

台湾巡礼は日本の観音巡礼とは異なり、金色や白色の仏様が多く、華やかで、蘭の花や沢山の花々に囲まれていました。お花にも金粉をかけたり、色々と飾りを付けていました。

『十牛図』について



三、見牛（牛を見る）

「牛の影 ほのかに見ゆる 夏木立」
夏の木立が生い茂るような、日常の慌ただしさの中に、生まれたときから皆さんがそれぞれ持っている本当の自分を、おぼろげではあるが見いだしたところ。

でも、まだまだ本物ではない。雪丸老師は「絵に描いた餅では腹はふくれぬ。」とおっしゃっています。図にあるように、綱を持った少女が牛のおしりをやっと思つた。綱を持つて探すということは、つまり自分と向き合うということです。坐禅や写経などの修行をして自分と向き合ってみると、仕事や生活、その他諸々の関係等の悩みやストレスも薄くなり、やっと思つた自分の面影を見つかることができたというところ。次は、牛をその綱で捕まえなければなりません。せっかくのお彼岸です。皆様におかれましても是非一心にお参りして頂き、お墓や位牌の影に牛のお尻を探してみてください。

募集中

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

三月 十七日(月)・四月 七日(月)
五月 八日(木)・六月 三日(火)

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かっぱれ・ヨーガ・ピラティス等があります。

◆早朝洗心坐禅会(申込不要)

毎週日曜日 朝六時半～八時半

会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。

◆写経会(申込不要)

毎月第二土曜日 一時～四時

(但し、七月、八月はお休み)

納経料は 一卷五〇〇円(龍雲寺に納経)

来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。

イス席もご用意しています。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

A (一五〇×一五〇) 永代使用料一二五万円

B (一五〇×一四〇) 永代使用料一二四万円

ABとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

◆納骨堂(お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆NPO 東日本大震災復興支援

『浜ばっぱのぞうきん』

※龍雲寺にて浜ばっぱのぞうきんを置いてあります。 一組四〇〇円

募集中

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆第二次 坂東三十三観音巡礼①

五月十二日(月)～十五日(木)

西国三十三観音・秩父三十四観音巡礼と坂東で百観音巡礼となります。二回で結願となります。

◆第八次 四国八十八ヶ所巡拝②

五月二十六日(月)～二十九日(木)

◆第九次 妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(金)～十七日(日)

◆第二次 坂東三十三観音巡礼②

満願の旅

十月二十七日(月)～三十日(木)

◆第一三四回 三峰榛名講

六月二十四日(火)～二十五日(水)

今年で一三四回目となります。初めてのの方も気軽に御参加下さい。

三峰榛名講とは？

龍雲寺では、毎年この時期に三峰・榛名講という大切な行事があります。この行事は今回で134回目を迎えました。しかし、この回数は記録に残っている数字であり、実際は江戸時代から地元で行われてい

たとされています。講というのは、同じ神仏を祀り、または参詣する同行者の組織のことを言います。

農村であった世田谷野沢にとって、「雨乞い」というのは大変重要なものであり、毎年「あみだくじ」で代表者を選び、村を代表してお参りに行くというものでした。

肅々と神社をお参りするというのは、とてもすがすがしいものです。私たちが畳の部屋で落ち着き、癒されるというのと同じではないでしょうか？日本人としての心がそうさせると思います。お寺の団体が神社をお参りする：おかしいと否定するよりも、こんな文化は素晴らしい！と考えた方が、人生は豊かになるような気がします。

榛名神社はパワースポットとしても最近有名になりました。お社の真上には、今にも転げ落ちそうな大岩がございます。昔の人はこういう所に「神の仕業」を見たのかも知れません。

細川晋輔



編集後記

○皆様いかが、お過ごしですか？○慣れない大雪で大変だったと思います。昨年の晋山式の為に植木屋さん達が太木の枝払いをして下さっていたおかげで、木々は無事でした。生け垣や小さな木々は何度も雪払いをしました。バラ園のバラの木は雪の重さで地面に倒れていました。雪を払うと翌日には元の姿になっていました。きつと少しづつ雪が積もり、ゆっくり倒れて行ったからだと思います。○台湾三十三観音巡礼は台湾の方々やガイドさんも初めての山の上の寺等に、お参りに伺った時に、お寺の方に、来てくれただけで嬉しいと言われ歓迎を受けました。又、次回が楽しみです。○第八次四国八十八ヶ所巡拝は今年が開創千二百年で特別御開帳です。これから五十年、百年先にはかないので今年のお参りは貴重です○板東三十三観音巡礼は現在三十名のお申し込みで定員になりました、お二人は素人の方で毎回練習を積まれて素晴らしい出来映えだったと思います。獅子舞のポスターは昔、書生さんに獅子舞のかつこうをして貰い私が描いた物です○お彼岸には、お子さんやお孫さん達とご一緒に、お墓参りや法要にいらして下さい。ご先祖様の大切さを教えて下さい。おはぎを沢山ご用意してお待ちしています。山内一同おかげさまで元気にしております。河津桜も七分咲きです。○お彼岸会ではお目にかかれるのを楽しみにしております。お元気で。要子